

申込並びに受講上の注意事項（一陸特 個人用 平日・休日コース）

1. 申込にあたっての注意事項

- (1) お申込みいただく場合は、各講座の前営業日までに、以下の書類に必要事項をご記入、押印いただき取り急ぎ、メール添付にてご送付ください。

折り返し、弊社からの確認を行いますので、その確認をもって申込みが完了したことにいたします。なお、募集定員に達していた場合は、受付期間内であっても締め切ります。

メール宛先：yousei@brainnet.co.jp

1. 申込書

2. 養成課程_個人情報のお取り扱いについて（一陸特 個人用）

3. 養成課程受講要件を満たす方の書類(詳細は 2.の(3))

- (2) 受講料（選抜試験受験料を含む。以下、同じ）」のお支払い

受講料は前払いとなっていますので、各講座の2営業日前までに下記口座へ振り込んで下さい。振込手数料は、個人負担でお願い致します。

個人様で請求書を請求された場合は、それが領収書にもなりますので、改めて領収書の発行は致しておりません。ご了承ください。

振込先： みずほ銀行 世田谷支店 普通口座 1344680 株式会社ブレンネット
(海外の口座からの振り込みは、取り扱っていませんので、ご了承ください。)

受講料の返金に関しましては、契約条項第10条に基づき取り扱いますが、お客様側都合による返金は原則として行いませんので、ご注意ください。ただし、契約条項第9条1項による通知があった場合は、受講料の70%から振込手数料を控除した額を返金いたします。(この通知には、「個人用受講料返金書式」の様式をご使用下さい。)

- (3) **算数・数学確認資料とその演習問題につきましては、選抜試験対策講座を含む養成課程をご受講される際に、前提として必要になる算数や数学の知識を取りまとめたもので、これらの内容はすでにご理解されているものとして、講義を進めていきます。**

もし、必要でしたらこれらを活用して算数・数学の復習をお願いいたします。

- (4) 基礎アンケートは、お申込者様の現在の知識に関する状況確認をさせていただき、講習に役立てていくものです。**参考書等を見ないで、現状のままご解答いただき、できれば上記(1)の申込書等を送付いただく際に、併せてご送付ください。**

- (5) 選抜試験対策講座並びに養成課程のテキスト・教科書は各々受講初日にお渡し致します。事前販売はいたしておりませんので、ご了承下さい。

- (6) 無線従事者規則第45条第1項の規定により、過去に電波法違反による刑罰又は処分を受けたことがある場合は、無線従事者の免許が与えられないことがありますので、該当する場合は、申込時にお問合せ下さい。

2. 申込・受講のために必要な書類

第一級陸上特殊無線技士養成課程受講のために必要な書類は次の通りです。これらの書類は、上記 1.の(1)で送付いただいた申込書及び証明書の原本とともに、各講座の初日にご持参下さい。

(1) 選抜試験対策講座及び選抜試験を受講・受験される方

・写真 1 枚

たて 30mm、よこ 24mm。6 ヶ月以内に撮影したもので、詳細は、最終ページの「**免許申請用写真**」を参照して下さい。

受講票を受講初日に配布しますので、それに上記写真をお貼りください。写真は、免許申請にも使用しますので、同じものを使用してください。この受講票は、受講日及び受験日に必ずご持参ください。

なお、選抜試験合格者で引き続き養成課程を受講される方は、下記「共通書類」を養成課程の受講日までにご準備ください。受講票はそのまま使用しますので、大切に保管してください。

(2) 共通書類（選抜試験合格者の方を含め、養成課程受講要件を満たす方）

次の書類等を受講日までに準備の上、受講初日にご持参下さい。

ア 写真 3 枚（上記選抜試験を受験された方は同一のものを 2 枚）

たて 30mm、よこ 24mm。6 ヶ月以内に撮影し、すべて同一の写真とし、裏面に氏名、生年月日及び「一陸特」と記入してください。写真の詳細は、最終ページの「**免許申請用写真**」を参照して下さい。受講票、修了証明書及び免許申請に使用します。

イ 氏名と生年月日を証する書類 1 通

住民票の写し（**個人番号の記載ないもの。複写不可**）、戸籍抄本、印鑑登録証明書、住民票記載事項証明書又は公の機関が発行した資格証明書（**いずれも発行後 6 ヶ月以内。複写は不可。運転免許証は不可**）若しくは、住民票コード、無線従事者免許証、電気通信主任技術者資格者証、工事担任者資格者証の番号のいずれかの一つを免許申請書類に記入すれば、上記証明書類の提出を省略することができます。

ご本人の住民票コード（11 桁）を使用する場合は、受講当日に住民票コードをメモに控える等してお持ちください。

マイナンバー(12 桁)は使用できませんのでご注意ください。

ウ 免許証送付用封筒 1 枚（切手貼り付けのこと。）

封筒のサイズは、クレジットカードが入る長形 3 号で結構です。封筒には送付先住所、氏名を記入してください。切手は普通郵便（長形 3 号）相当でも可能ですが、免許証なので「簡易書留」をお勧めします。簡易書留の場合、封筒の表面に「**簡易書留**」と**赤色**で記入し、簡易書留料を追加して下さい。

(3) 養成課程受講要件を満たす方の書類（「受講資格及び選抜試験」の WEB ページをご参照下さい。）

ア 卒業証明書の原本 1 通（指定学科卒業により受講する場合）

イ 履修証明書又は成績証明書の原本 1 通（指定学科卒業ではないが、電気通信に関する課程を卒業又は履修したことにより受講する場合）

上記ア又はイのいずれの書類が必要になるかは、お申込時にお問合せください。

ウ 無線従事者免許証のコピー 1 通（第二・第三級総合無線通信士、第一・第二・第四級海上無線通信士又は航空無線通信士の資格を有することにより受講する場合）

エ 経歴証明書の原本 1 通（業務経歴により受講する場合）

3. 受講上の注意事項

(1) 受講者本人確認

受講当日、受講者本人であることを確認いたしますので、社員証、学生証、運転免許証、無線従事者免許証及び工事担任者資格者証など顔写真が添付され、本人であることが証明できるものを持参して来て下さい。

顔写真が添付された証明書を準備できない方は、住民票の写しを準備ください(複写不可)。

(2) 受講等の時間

ア 選抜試験対策講座－ 初日 09:30～18:00、2 日目 09:30～15:00

イ 選抜試験 －16:00～18:00（ただし、15:50 から説明を行いますので、15:50 までに集合して下さい。）

ウ 養成課程 －初日 09:20～18:20、2 日目から 7 日目 09:30～18:20、8 日目 09:30～16 : 00

(ア) 平日コース：土日祝日を除く、平日×8 回開催します。

(イ) 土日コース：原則、土日×4 回開催します。ただし、三連休等の場合は、連休の初日及び二日目に開催します。

(ウ) 日曜日コース：原則、日曜日開催とします。ただし、三連休等の場合は、連休の初日に開催いたします。

エ 修了試験 －養成課程 8 日目に引き続き 16:20 から 18:40（ただし、16:10 から説明を行います。）

(3) 実施場所

実施場所（すべて共通）：ブレーンネット本社 3F 研修ルーム

(研修ルームは、9 時に開錠いたします。)

(4) 補習・修了追試験

万が一、上記の修了試験で不合格になった場合でも原則、補習は実施致しません。ただし、受講者から補習・修了追試験を申し出た場合は、補習・修了試験を受けることが可能です。日程は、申込時等にご確認下さい。料金は、別途 30,000 円（税込。補習、修了追試験料）を申し受けません。

(5) 補講について

補講は原則、交通機関等の乱れによる遅刻等で受講できなかった時間分について 1 日当たり 2 時間まで行います。なお、自己都合等により講習を欠席した場合の補講は、原則として実施致しませんのでご注意ください。ただし、やむを得ない事情と判断した場合は、別途有料とさせていただきます。

また、遅刻・欠席が発生する場合は、必ず下記の電話番号へご連絡下さい。

080-7094-3169（技術研修課携帯電話）

(6) 持ち物

上記記載の書類、写真、封筒、ノート及び筆記用具（シャープペンシル、黒のボールペンは必須）

(7) 健康管理

体調不良により講習を欠席しますと、補講時間不足で修了試験を受験できなくなる場合がありますので、健康管理をお願いします。

(8) その他の受講上の注意事項

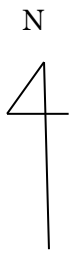
ア 実施場所のビルは、他の企業等が入居していますので、施設利用にあたっては、講師の指示に従ってください。

イ 食堂はありませんので、食事等は周辺の店舗をご利用ください。

ウ 宿泊の斡旋は行っていませんので、宿泊場所の確保はご自身で確保して下さい。

(9) 講習会場の住所と案内図

住所 東京都千代田区神田神保町三丁目 10 番地（下記案内図の場所の茶色のビル 3F）



最寄駅 地下鉄半蔵門線 神保町駅
A2 出口徒歩 2 分
地下鉄半蔵門線 九段下駅
5 番出口徒歩 5 分



拡大図

道順（神保町駅 A 2 出口からの場合）

神保町駅 A 2 出口を右に進む→みずほ銀行が右手側→専大前交差点を横断→「おりべ」→「コンビニ」→公園を左に見ながら直進→茶色のビルを目指す。→ 3 F が研修会場



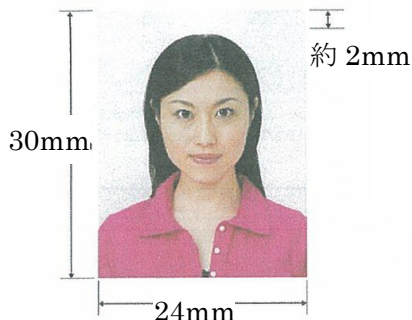
無線従事者免許証用の写真について

詳しくは、総合通信局（沖縄総合通信事務所を含む）へお問い合わせください。

無線従事者の免許、訂正、再交付の申請に使用する写真は、無線従事者規則により下記の大きさとなっていますので、以下の「適当な写真例」、「不適当な写真例」を参考に写真を提出してください。

適当な写真例

申請する資格によって写真の大きさが異なります。



指定の大きさを満たし、容易に人物を特定できるもの



主な注意点

1. 申請者本人のみが撮影されたもの
2. 6ヶ月以内に撮影されたもの
3. 縁なしで各寸法を満たしたもの
4. 無帽で正面を向いたもの
5. 背景（影を含む）がないもの

不適当な写真例



上三分身より大きいもの



上三分身より小さいもの



視線が正面でないもの



顔が横向きのもの



顔が左右に寄っているもの



顔が左右に傾いているもの



背景の色が濃く人物を特定できないもの



顔に影があるもの



背景があるもの



人物が写り込んでいるもの



影があるもの



著しく変色しているもの



平常の顔貌と著しく異なるもの



幅の広いヘアバンド等により頭部が隠れているもの



照明が眼鏡に反射したものの



サングラスをかけているもの



前髪が目元にかかっているもの



上部余白がないもの

最後にチェックしよう

☆選抜試験対策講座または選抜試験のみを受講する方、☆選抜試験対策講座と選抜試験を受講する方

☐ 講習会場は、確認しましたか。(入場可能は9時からです。)

☐ 写真は1枚ありますか。(大きさなどの規定があります)。

☐ 受講当日に、本人確認を行える身分証は準備できましたか。

(本人確認できないと、受講できない可能性があります。)

☆養成課程のみを受講する方

☐ 養成課程受講要件を満たす書類の原本

養成課程は受講資格が必要です。受講資格(業務歴など)がありますか。

業務歴などが無い場合は、選抜試験に合格することで、受講資格を満たせます。

☐ 受講当日に、本人確認を行える身分証は準備できましたか。

(本人確認できないと、受講できない可能性があります。)

☐ 講習会場は、確認しましたか。(入場可能は9時からです。)

☐ 写真は3枚ありますか。(大きさなどの規定があります)。

☐ 「氏名と生年月日を証する書類」は用意できましたか。

(住民票の写しは、カラーコピーしたものは使えません。)

☐ 免許証が送られる封筒は準備できましたか。

(封筒の大きさは無線従事者免許証(85mm×54mm)が入れば良いです。)

☆選抜試験対策講座、選抜試験、養成課程を受講する方

☐ 受講当日に、本人確認を行える身分証は準備できましたか。

(本人確認できないと、受講できない可能性があります。)

☐ 講習会場は、確認しましたか。(入場可能は9時からです。)

☐ 写真は3枚ありますか。(大きさなどの規定があります)。

☐ 「氏名と生年月日を証する書類」は用意できましたか。

(住民票の写しは、カラーコピーしたものは使えません。)

☐ 免許証が送られる封筒は準備できましたか。

(封筒の大きさは無線従事者免許証(85mm×54mm)が入れば良いです。)